



経済金融活性化特区・  
情報特区の企業と雇用  
令和7年7月末現在

**企業数** 50社  
**雇用者数** 2,370人

# 特区で働こう!

## 『株式会社fan-mily』

今月は、昨年7月に入居した株式会社「CUE」を紹介します。  
代表取締役の松田秀彦氏にお話を伺いました。

### 〇何をしている会社?

弊社の事業は「受託開発」と「IT人材育成」です。

受託開発事業では、企業のニーズに応じたアプリやWebシステムの開発を行っています。

IT人材育成事業では、年齢や目的に合わせた複数の教育プログラムを展開しています。小中学生向けのプログラミング教室「COCO」、高校生・大学生・高専生向けの「やんばるハッカソン」や「FUCHU ADVANCE」、さらに社会人向けの「EADME」などです。地域に根差した人材育成を通じて、未来のIT人材を育てることを目指しています。

### 〇名護市に進出したきっかけ

私はもともと東京でアプリ開発のエンジニアをしていましたが、新型コロナウイルスをきっかけにフルリモートの働き方が広がり、全国どこでも働ける環境になりました。もともと沖繩が好きだったこともあり、思い切って沖繩に移住しました。

その中で、アプリ開発会社を立ち上げたいという思いが強まり、名護市を拠点に起業しました。名

護市には沖繩高専や名桜大学といった教育機関が集中しており、IT人材を育てて県内外に輩出していくには理想的な環境だと感じ、特区施設への入居を決めました。

### 〇やりがいや大変なこと

IT人材育成事業では、子どもたちがプログラミングをとおして目に見えて成長していく姿を間近で見られることに大きなやりがいを感じており、自由で柔軟な発想に刺激を受けています。

一方で、年齢やスキルに応じて一人ひとりに合った教え方を考える必要があります。その点は難しさでもありますが、世代間のギャップを感じることがありますが、積極的にコミュニケーションを取ること

### 〇会社の魅力は?

私自身、地域に貢献したいという思いが強く、それが現在の事業や教育活動にも表れていると感じています。子どもたちにも、自分の生まれ育った地域に愛着を持ち、社会に貢献したいという意識を持つてほしいです。

ネット環境さえあればどこでも仕事ができる現代では、地域にいなながら活躍できる人材を育てていくことが可能です。「地域のため・人のため」に働く志を持つ人材

になれるよう、技術だけでなく人としても成長できる会社でありたいと考えています。

### 〇求める人材

現在、子ども向けプログラミング教室の運営業務を担当していただけるパート社員を募集しています。教室の「まとめ役」として、生徒や保護者、講師との円滑なコミュニケーションを取り、教室運営をサポートしていただきます。

子どもたちの成長を支えたいという熱意のある方、教育に関心があり、人との関わりを大切にできる方にぜひ来ていただきたいと考えています。

### 〇今後の事業展開

今後は、名護市をモデルケースとして、地域に根差したIT教育の仕組みをさらに発展させたいと考えています。小学生から社会人まで一貫したIT教育を提供し、



「名護から世界へ!」今後の展望を語る  
松田代表取締役

### ご意見・ご感想をお寄せください

地域経済部 商工・企業誘致課 企業誘致係  
TEL.53-7530 FAX.53-7522

特定非営利活動法人NDA  
TEL.55-3333 FAX.55-3332  
メールアドレス: info-nda@nda.city.nago.okinawa.jp

お問い合わせ先

### WEBでも 情報発信しています!

■ NDAホームページ  
<https://nda.city.nago.okinawa.jp/>

■ 地域経済部 商工・企業誘致課 企業誘致係  
<https://www.city.nago.okinawa.jp/soshiki/chiikikeizai/shoukougigyoyuuchi/>



名護から世界で活躍できるエンジニアを育てる循環をつくりたいです。プログラミングや論理的思考を早い段階から学び、創造力や問題解決能力を育てることは、子どもたちの将来の進路選択においても大きな強みになります。

さらに、学生と地域企業との連携を強化し、実際のビジネス現場での経験を提供することで、人材育成と地域の新たなビジネスチャンスの創出を両立させていきたいです。

人材が名護に戻り、地域で活躍することで経済が活性化し、持続的な地域発展につながると信じています。